

(2) 第2回専門部会等を踏まえた事業内容の修正について

基本目標 1

● 施策 1-1 「こどもの権利が守られ、こどもたちが自分らしく育つ環境づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	(庁内での検討) 活動内容をより正確に測る指標として、活動指標修正	【活動指標】 相談援助技術向上に向けた研修回数 【目標値】 令和7年度：10回 令和8年度：12回 令和9年度：12回	【活動指標】 相談援助技術向上に向けた研修 受講者 数 【目標値】 令和7年度： 50人 令和8年度： 60人 令和9年度： 60人

基本目標 1

● 施策 1-2 「こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
その他事業	「母子家庭」、「父子家庭」「ひとり親家庭」の使い分けはあるのか。 また、「保育ママ」というのは通称なのか、そういう制度がちゃんとあるのか。今男性の育児の講座が開かれるようだが、「保育パパ」はいないのかというところも気になる。	【実施計画事業名一覧】 ・母子及び父子家庭への支援	・ ひとり親家庭 への支援

基本目標 1

● 施策 1 - 3 「豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きる こどもの育成」

主要事業	意見	修正前	修正後
⑤	<p>デジタルの弊害を打破するのが読書活動。こどもたちの読書活動のきっかけづくりが重要。読書活動の推進に本に親しむきっかけづくりになる読み聞かせの推進をいれるのはいかがか。</p>	<p>【事業概要】 各学校で読書活動計画を作成し、読書の時間や機会の確保、読書週間の取組など、児童・生徒の発達段階に応じた読書活動の充実と読解力の向上を図ります。</p>	<p>【事業概要】 各学校で読書活動計画を作成し、読み聞かせの推進や読書の時間・機会の確保、読書週間の取組など、児童・生徒の発達段階に応じた読書活動の充実と読解力の向上を図ります。</p>
	<p>主要事業⑤2つ目の事業概要の「総合的な学習（探究）の時間」が正しいのではないか。小中学校では「総合的な学習の時間」高等学校では「総合的な探究の時間」というので確認いただきたい。</p>	<p>【事業概要】 区立図書館は、区立小中学校の読書学習司書と連携し、学校図書館の運営支援のほか、図書の貸し出しや総合的な学習の時間（探究）への支援を行います。</p>	<p>【事業概要】 区立図書館は、区立小中学校の読書学習司書と連携し、学校図書館の運営支援のほか、図書の貸し出しや総合的な学習の時間の「調べ学習」への支援を行います。</p>

基本目標 1

● 施策 1-4 「一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
②	<p>特別支援教育の充実という主要事業があるが、将来的には、インクルーシブ教育という、文言を併記してもらえたらと思う。</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場を整備します。 ■ 研修などを通じて、教職員が障がいや特別支援教育に係る理解を深めます。 	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>障がいのある児童・生徒と障がいのない児童・生徒がともに学ぶことをめざすとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場を整備するインクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・専門性の向上や校内における支援体制を充実させます。</u>
③	<p>主要事業③いじめ対応、不登校児童・生徒への支援の活動に「授業力の向上」をいれられないか。小学校の先生は全体をみる力が大事。授業が楽しい、となると不登校防止にもつながると考えている。不登校防止のために授業力の向上が大事と考える。</p>	<p>【事業概要・活動】 関連する内容の記載なし</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善することにより、こどもたちの個性に合った柔軟な学びを実現し、こどもたちが前向きに学べるようにします。</u> <p>【活動】</p> <p><u>1-3主要事業⑦「教師力の向上」活動再掲</u></p>

基本目標 2

● 施策 2-1 「高齢者一人ひとりが充実した暮らしを送るための環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	<p>主要事業③について、施策の指標ではスポーツ関係や趣味関係も社会参加に含まれているが、活動指標はいずれも就労活動支援に関わるものになっている。就労に限らない部分に対応するものが主要事業にはなくてもよいのか。</p> <p>就労のことしかあがっていないのは問題に思う。地域の中で、高齢者が参加できる仕組みが必要。高齢者の社会参加は、多世代の社会参加に組み込んでいかないといけない。そのあたりの仕組みづくりを区で行うことが大変必要。また、働きながらも余裕をもって地域の活動に参加できるような仕組みも、アイデアを出しあってつくるべきだと思う。</p>	<p>【活動名】 シルバー人材センターでの就労活動支援</p>	<p>シルバー人材センターでの就労・社会奉仕活動等支援</p>

基本目標 2

● 施策 2-2 「本人の意思に寄り添う権利擁護の推進」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	<p>主要事業①のDVについて、親同士の喧嘩等を目の当たりにすることで、結局こどもの生きる力を削いでしまうことが問題となっている。これは不登校やひきこもりの大きな一因にもなっていくので、DVという点ではこの施策に収まるが、他の施策にも影響するものであるということを認識しながら位置付けていく必要がある。</p> <p>DVについて、啓発や相談が大事な一方で、その解決というのはなかなか難しい。先の対応として、具体的に踏み込める体制を増やすという形も大事ではないか。</p>	<p>【事業概要】 また、周知方法の工夫などの検討を進め、DVをはじめとする困難な問題を抱える女性等を適切な支援につなげます。</p>	<p>また、周知方法の工夫などの検討を進め、他機関と連携しながら、DVをはじめとする困難な問題を抱える女性等を適切な支援につなげます。</p>

基本目標 2

● 施策 2-5 「人々の相互理解と交流の促進」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	<p>高齢の外国人は母語でしか話せない人が多い。外国人を労働者ではなく生活する人として受け入れ、何か一緒にやれることを今のうちに作っておかなければならない。</p>	<p>【事業概要】 …特別出張所や地域団体と連携した「18色の国際都市事業」等を通し、各地域の特色を活かした国際都市おおた大使や国際交流員との交流を促進することで、国際理解・国際交流を推進します。</p>	<p>…特別出張所や地域団体と連携した「18色の国際都市事業」等を通し、外国人の視点を採り入れながら、各地域の特色を活かした国際都市おおた大使や国際交流員との交流を促進することで、国際理解・国際交流を促進します。</p>
	<p>地域の活動にも外国人の視点を取り入れる（活動例：防災訓練）など、安心して暮らせるところだというイメージを作らなければならない。</p>		
	<p>（庁内での検討） 「Mintoフレンズ」の補足説明について、より適切な表現に修正</p>	<p>【事業概要】 おおた国際交流センターのサポーターである「Mintoフレンズ」の拡充を図り…</p>	<p>区の多文化共生推進のサポーターである「Mintoフレンズ」の拡充を図り…</p>
②	<p>（庁内での検討） 活動「国際交流団体の支援及び連携促進」について、令和6年度最新値がすでに目標値を達成していたため、活動指標「交流団体の数」の数値を修正</p>	<p>【目標値】 令和7年度：42団体 令和8年度：43団体 令和9年度：44団体</p>	<p>令和7年度：45団体 令和8年度：46団体 令和9年度：47団体</p>

基本目標 2

● 施策 2-6 「地域全体での健康づくりの推進と地域医療の充実」

主要事業	意見	修正前	修正後
全体	体の健康についてはかなり書いてあるが、こころの健康に関するところが弱いのではないか。	【主要事業①事業概要】 働く世代等に対して、健康の保持・増進を目的に生活習慣病の予防と健康に関する正しい知識を啓発します。	働く世代等に対して、健康の保持・増進を目的に生活習慣病の予防と 心身の 健康に関する正しい知識を啓発します。

基本目標 2

● 施策 2-7 「スポーツの楽しさが広がる環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	主要事業①について、イベント内容に満足した参加者の割合はどのようにしていくのか。令和9年度の目標値が100%というのは相当強気だと思う。無理があるのではないか。	【活動指標】 イベント内容に満足した参加者の割合 【目標値】 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：100%	イベントの延べ参加者数 (区民スポーツまつり) <u>令和7年度：15,000人</u> <u>令和8年度：15,500人</u> <u>令和9年度：16,000人</u> (OTAウォーキング) <u>令和7年度：450人</u> <u>令和8年度：500人</u> <u>令和9年度：500人</u>

基本目標 3

● 施策 3-1 「脱炭素化の推進と豊かな自然の継承」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	「再エネ電力の調達」の活動について、令和7年度「拡大」、令和8年度「拡大検討」、令和9年度「拡大」となっているが、何を表しているのかわかりにくいのではないかと。	【目標値】 令和7年度：拡大 令和8年度：拡大検討 令和9年度：拡大	※目標値については、実施計画策定までに定量的な数値への変更を検討

基本目標 3

●施策 3-3 「区内企業の自己変革の促進」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	(庁内での検討) 「デジタル受発注プラットフォーム構築・拡大事業」について、修正前の目標値は区外の参画企業増加数を含めた値であったことから、区内の参画企業増加数に限定した値に修正。	【目標値】 令和7年度：40件 令和8年度：60件 令和9年度：60件	令和7年度： 20件 令和8年度： 20件 令和9年度： 20件
②	「デジタル化支援事業」の年度別計画の目標の単位は、参加人数か、参加事業者数か、どちらと捉えればよいか。	【目標値】 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人	令和7年度： 20社 令和8年度： 20社 令和9年度： 20社
	「(仮) キャッシュレス決済事業」の年度別計画の目標の単位(参加店舗開拓数)について、考え方が分かりにくいのではないか。	【単位】 参加店舗開拓数 【目標値】 令和7年度：5,250件 令和8年度：5,500件 令和9年度：5,500件	※活動単位及び目標値については、実施計画策定までに定量的な数値への変更を検討

基本目標 3

● 施策 3-6 「活気あふれる商店街づくりと魅力ある観光資源の創出・発信」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	商店街の支援として挙げている活動が、個店支援にも繋がるということが分かるようにした方が良い。	【事業概要】 商店街のイベントや専門（外部）人材を活用した宣伝広告活動への補助、巡回相談など、商店街の主体的な賑わい創出の取組や持続可能な運営基盤を確立するための取組に支援を行います。	【事業概要】 商店街のイベントや専門（外部）人材を活用した宣伝広告活動への補助、巡回相談など、商店街の主体的な賑わい創出の取組や持続可能な運営基盤を確立するための取組に支援を行い、 <u>これにより商店街の活性化やそれに寄与する個店の成長に繋がります。</u>

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	<p>「倒れないまちづくりの推進」について。活動の内容を見て、不安に思うところがあった。助成を手厚くするのは限界があるとは思いますが、啓蒙・啓発についてはしっかりやって、コンサル派遣までたどり着いてもらえるようにするのも重要。</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震コンサルタント等、専門家派遣による耐震化支援とともに、耐震診断・設計・改修工事（木造除却含む）にかかる費用の一部を助成し建築物の耐震化を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震コンサルタント等、専門家派遣による耐震化支援とともに、耐震診断・設計・改修工事（木造除却含む）にかかる費用の一部を助成し建築物の耐震化を促進します。 <p><u>・区報・区HPをはじめとした広報活動とともに、緊急輸送道路等沿道建築物所有者への個別訪問や、イベント出展等による普及啓発を行うことで耐震改修機運の醸成を図り、倒れない、災害に強いまちづくりに取り組みます。</u></p>
	<p>個人にかかわるものが4-1では大きい。個人の財政力の問題もあり、区取組にも限界はある。そのため助成を検討してもらうところまで、啓蒙をしっかり行うことが重要。個人の財産にかかわるような内容を含むが、それも含めて計画に掲載してほしい。</p>		
	<p>重要度をつけて、工事の助成の例などを周知して啓蒙していくなど、メリハリをつけて、モデル的に行っていくとよい。重要度をデータ分析した上で、モデル的に実施して事例を出現させることで、このようにできるのか、ということが周りに伝わっていく。</p>		

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

主要事業	意見	修正前	修正後
②	<p>行政が手を付けられるインフラについては着実に進めることができる。しかし木密地域などの民有地については、助成があっても進められない人が残ってしまっている。実施計画においては見た方が、「やってみよう」と思えるようなつくりこみをしてほしい。例えばQRコードを入れるとか。区民の協力が必要なものは、一般の区民が見てすぐ取り掛かれるというところまで整え、協力のハードルを下げるような仕組みづくりができるとうい。</p>	—	<p>※実施計画書内に災害に強いまちづくりに関する補足説明を追加</p>

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

主要事業	意見	修正前	修正後
⑤	(庁内での検討) 大田区高台まちづくり基本方針（素案）の策定に伴い、実施計画の記載を修正	【事業概要】 区の高台マップによる被害想定を踏まえ、地域別の水害危険性の分析に基づく課題抽出や対応方針の検討を行い、高台整備の必要性の高い地区を抽出し、長期的には高規格堤防の整備を検討し、短中期的には、公園等の公共施設や建築物等による高台確保を検討しました。令和7年3月策定の「高台まちづくり基本方針」に基づく高台整備に関する具体の事業計画として個別事業エリアを定め、整備スケジュール、事業手法、想定事業費など詳細な事業検討を進めていき、区民の生命・財産を守る高台まちづくりを推進していきます。	区の高台マップによる被害想定を踏まえ、地域別の水害危険性の分析に基づく課題抽出や対応方針の検討を行い、高台整備の必要性の高い地区を抽出し、 短期では、建築物を利用した垂直避難、命を守る避難場所の確保の検討、中期では、高台の公園や建物等を拡充した避難拠点の確保の検討、長期では、多摩川流域に高規格堤防を整備し、その上を高台のまちとして再整備することを検討します。令和7年3月策定の「高台まちづくり基本方針」に基づき、区民の生命・財産を守る高台まちづくりを推進していきます。

基本目標 4

● 施策 4-2 「地域力を活かした防災対策の推進」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	(庁内での検討) 「実戦型本部運営訓練」という表現について、「実戦」というと誤解を生む恐れがあるため 修正	【事業概要】 従来の図上訓練に加え、予想外の事態にも的確に対応できるよう、被災現場を想定した模擬訓練場等で、実際に関係機関が救助活動を行う実動訓練と連携することで、区の指揮・統制能力を高める実戦型本部運営訓練を行います。 【活動】 実戦型本部運営訓練	従来の図上訓練に加え、予想外の事態にも的確に対応できるよう、被災現場を想定した模擬訓練場等で、実際に関係機関が救助活動を行う実動訓練と連携することで、区の指揮・統制能力を高める 実践的な 本部運営訓練を行います。 本部運営訓練

基本目標 4

● 施策 4-2 「地域力を活かした防災対策の推進」

主要事業	意見	修正前	修正後
②	<p>各地域で災害に対する活動を様々やっているが、参加者は自治会町会の役員や意識が高い人が多い。しかし訓練をしている人自身が被災したら動けなくなってしまいうので、災害対策として自助の意識をあげていくことにウエイトをおいてほしい。</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練を通じて確認できた成果や課題は各種会議・講話等の場や区HP等を活用して広く共有するほか、マイ・タイムライン等、自助の取り組みの普及啓発等を通じ、防災意識の高揚と知識の向上、行動喚起を図ります。 <p>【活動】</p> <p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を通じて確認できた成果や課題は各種会議・講話等の場や区HP等を活用して<u>広く共有します。</u> ・<u>マイ・タイムラインや在宅避難等、自助の取り組みの普及啓発や訓練の成果共有を通じ、防災意識の高揚と知識の向上、行動喚起を図ります。</u> <p><u>防災意識高揚事業 ※追加</u></p>
	<p>学校防災拠点に入れる人は1,500人程度とされているが、実際にはそれだけの人は入れない。そのため基本的には在宅避難とし、それが難しい人は学校防災拠点に来てもらうというのがよい。</p>		
	<p>防災意識の高揚が重要というのは委員の共通認識。「防災意識の高揚と自ら避難行動等が判断できる環境づくり」において防災訓練の記載があるが、参加者は防災意識が高いなど一定以上の人。それよりも下のレイヤーの人達の防災意識を高揚するような取組があるとよい。</p>		
	<p>いかに一般の人に意識を持ってもらうかが重要。</p>		

基本目標 4

●施策 4-3 「治安がよい美しいまちの実現」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	消費者力の向上について、事業概要を読んでも個人の消費者力をあげていくということが読み取りにくい。2段落まで読んでようやく内容が分かるが、文章は分かりづらい。	【事業概要】 ・消費生活に係わる情報提供・生活技術習得のための講座を実施し、区内自主グループが行う消費者問題の学習会に講師を派遣します。また消費者問題を広くPRし、消費者問題を考える展示・発表の場として区内の消費者団体との共催により生活展を開催します。さらに資料コーナー・展示場では消費者が消費者問題について学び判断できる力を養うため、消費生活に関する展示及び図書、DVD、資料等を用意しています。	・ 安全・安心かつ豊かな消費生活を送るための講座を実施するとともに、区内自主グループが行う学習会に講師を派遣します。また、資料コーナー・展示場では消費者が消費者問題について学び判断できる力を養うため、消費生活に関する展示及び、図書、DVD、資料等の閲覧・貸出を行います。さらに、 消費者問題を広くPRし、消費者問題を考える展示・発表の場として区内の消費者団体との共催により生活展を開催します。
	書きぶりや表現を再検討してほしい。		

基本目標 4

● 施策 4-4 「地域の魅力を活かした拠点づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
① ② ③	<p>4-4においては、ビジョンを多く策定している。それぞれの主要事業の事業概要において、それぞれの地域の方針をブラッシュアップしながらしっかり実現していくという表現が事業概要にあるとよい。</p>	—	<p>※ 3つの主要事業に対して、実施計画書内にそれぞれのランドデザインに関する補足説明を追加</p>
	<p>施策の方向性名と主要事業名が同じになっている。それぞれのまちの主要なコンセプトまで示されておらず、ただこういうことをやりますということだけが書いてあり、意見を出しにくい。</p>		
	<p>蒲田と大森の違いについて、鉄道の利便性などの違いがある。そのような違いを踏まえてほしい。</p>		
	<p>3つのまちづくりの特徴やビジョンをきちんと描くべき。新空港線の動画などもあるので、それぞれの地域のビジョンを見せていったほうがよい。今の内容だとよいか悪いか言えない。</p>		
	<p>空白部分に書いてあると分かりやすいと思った。確定的な資料があればQRコードで飛べるとよい。</p>		

基本目標 4

● 施策 4-4 「地域の魅力を活かした拠点づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	(庁内での検討) 平和島駅周辺地区に関するまちづくりを主要事業に追加	【主要事業名】 下丸子駅周辺地区のまちづくり 【事業概要】 ※平和島駅周辺地区のまちづくりに関する記載なし 【活動】 ※平和島駅周辺地区のまちづくりに関する記載なし	<u>身近な地域の魅力づくり</u> ・ <u>平和島については、令和6年度に策定した「平和島駅周辺地区グランドデザイン」に基づいて、公民連携によりまちづくりを進めます。</u> ・ <u>平和島駅前において課題となっている歩行者環境改善対策に向けて取組を進めます。</u> ・ <u>平和島駅周辺地区まちづくりの促進</u> ・ <u>平和島駅前の歩行者環境改善対策</u> <u>※グランドデザインに関する補足説明も追加</u>

基本目標 4

● 施策 4-5 「誰もが移動しやすく利便性の高い多様な交通ネットワークの形成」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	<p>都市計画道路の主要事業について。区がしっかりできることに限定した記載だと思うが、都道や国道への働きかけなどの文言も計画内に記載し、総合的に良いネットワークを作っていくということが区民に伝わるとよい。表現を検討してほしい。行政として外部のことを記載しにくいのは分かるが、区民から見れば総合的な道路ネットワークの実現が大事。</p>	<p>【事業概要】 主要幹線道路間の円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。</p>	<p>都市計画に関する基本的な方針である「大田区都市計画マスタープラン」に基づき、主要幹線道路間の円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間や自転車等の走行環境を確保するため、<u>国道や都道も含めた街路整備を推進し、他区や隣接県を広域的に連絡する道路ネットワークの形成を進めます。</u></p>
	<p>都市計画マスタープランにも言及してほしいと思う。そちらで山ほど議論している。</p>		
	<p>蒲田・大森・調布の3つの地域間の利便性は悪い。手近なもの自転車だと思っている。バスなどを使うより電動自転車を使った方が早い場合も多い。区道だと道は狭いが自転車は通るので、安全に自転車が通れる区道の整備という観点も重要ではないか。</p>		
<p>都市計画道路の整備の事業概要「安全で快適な歩行者空間」に自転車に関する記載を加えることが考えられる。また電動キックボードなど、新しいパーソナルモビリティが使いやすいといったニュアンスにすることも考えられる。</p>			

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	(庁内での検討) 「デジタル技術を活用した」だけではどのような技術か分かりにくいので、表現を修正	【事業概要】 外部環境（人口減少や社会保障費の増大等）の変化を踏まえ、デジタル技術を活用した持続可能な維持管理手法を検討し、実装します。	外部環境（人口減少や社会保障費の増大等）の変化を踏まえ、 <u>これまでの管理により蓄積した情報をデジタルデータに置き換え、AI技術を用いて損傷の確認や発生などを予測することで</u> 、持続可能な維持管理手法を検討し、実装します。

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
②	空き家と自転車は啓蒙活動が重要。空き家は所有者がほったらかしにするのではなく、利活用できるところはきちんと利活用していきましようというのを啓蒙していくべき。	【事業概要】 管理不全空家等の発生を抑制するための相談体制を拡充するとともに、所有者及び関係者に対し、適切な維持・管理ができるよう助言・指導を行います。	<u>区民等への啓発活動や所有者等を対象とした相談体制を充実させるなど、空家等の発生を予防するとともに、適切な維持・管理ができるよう助言・指導を行います。</u>

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	自転車対策をあえて主要事業にした背景などがないと分かりにくいのではないかと。4-6では自転車対策として主要事業となっているが、活動としてはキャッシュレス化が挙げられており、整合が取れていない。放置自転車対策の課題にしても、それがキャパが足りないのが問題なのかが見えない。	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 放置自転車対策では、システムの更新と合わせコールセンターを導入して、撤去運搬及び保管業務の最適化を図ります。・ 自転車等駐車場は、キャッシュレス対応を促進します。・ 自転車を安全に楽しく活用する仕組みづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none">・ <u>放置自転車管理システムの更新やコールセンターの導入等により、効果的・効率的な放置自転車対策を推進し、区内各駅の周辺環境を向上します。</u>・ <u>自転車等駐車場の計画的な改修・整備等について、検討・実施するとともに、既存施設の利便性向上に向けた取組を進めます。</u>・ <u>環境にやさしく、機動性が高い自転車を、安全かつ快適に楽しみながら活用できる仕組みづくりを推進します。</u>

※活動の修正は次スライド

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

主要事業	意見	修正前	修正後
③	自転車対策をあえて主要事業にした背景などがないと分かりにくいのではないかと。4-6では自転車対策として主要事業となっているが、活動としてはキャッシュレス化が挙げられており、整合が取れていない。放置自転車対策の課題にしても、それがキャパが足りないのが問題なのかが見えない。	【活動】 ・ 放置自転車管理システムの更新及びコールセンターの導入 ・ 自転車等駐車場におけるキャッシュレス収納促進	<u>・ 効果的・効率的な放置自転車対策の推進</u> <u>・ 蒲田駅東口地下自転車駐車場整備工事</u> <u>【再掲】蒲田駅周辺のまちづくり (4-4-1)</u> <u>・ 自転車等駐車場における利用者サービスの向上</u>

※事業概要の修正は前スライド

基本目標 4

● 施策 4-7 「世界と日本をつなぐ空港臨海部のまちづくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	臨海部交通の拡充について、臨海部のなかの交通よりも内陸部と臨海部とのアクセスが重要。主要事業名では臨海部の中の交通とわかれてしまうので、事業名の修正を検討してほしい。	【主要事業名】 臨海部交通の拡充	<u>内陸部と臨海部における交通アクセスの向上</u>
	空港臨海部のビジョンを作っているのので、それにきちんと言及してほしい。大田区として重要な場所であり検討を進めているうえで主要事業にしたということが分かるように説明をしてほしい。	—	<u>※実施計画書内に空港臨海部グランドビジョン2040に関する補足説明を追加</u>
②	(庁内での検討) 区民に分かりやすい表現を取り入れた方がよいのではないかと。	—	<u>※実施計画書内にHANEDA GLOBAL WINGSに関する補足説明を追加</u>

基本目標 4

●施策 4-8 「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
①	<p>パークマネジメントマスタープランについて、記載に唐突感があり、区民からしても言葉に馴染みがない。何を狙ってマスタープランを作るのかの説明が必要。</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園づくりの羅針盤となるパークマネジメントマスタープランを策定し、これに基づく取組を推進します。 	<p>・多様化するニーズや変化する環境や社会情勢に対応し、誰もが利用したくなる魅力的な公園の実現に向けて、今後の公園のあり方や利活用方針、管理運営、整備方針等を示した公園づくりの羅針盤となる（仮称）パークマネジメントマスタープランを策定し、これに基づく取組を推進します。</p>
	<p>基本構想の議論の中で、こどもの一番の関心ごとが公園と分かった。公園が区民満足度や土地価格などにも影響し、政策的・経済的に重要ということの認識が高まっている。マネジメントマスタープランを作る意義として、大田区は公園を通じて区民の満足度や土地の魅力などを向上させていくということを謳ったうえで、それをしっかり計画に落としこんでいく旨を分かりやすく記載した方がよい。ただただ1つのプランを作るというように見えないようにしてほしい。</p>		
	<p>施策の方向性「大規模公園・緑地の魅力向上」のなかにパークマネジメントマスタープランが入っていることに違和感がある。4-8-1「大規模公園・緑地の魅力向上」と4-8-2「身近な公園・緑地の魅力向上」にまたがる内容ではないか。</p>		

基本目標 4

● 施策 4-8 「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
②	<p>ここでいう大規模公園がどこかわからない。羽田公園もここに含まれるのか。</p>	—	<p>※実施計画書内に大規模公園に関する補足説明を追加</p>
③	<p>利用率が低い小規模公園と書くと、小さい公園は全部悪いみたいにも見えるので、規模で示すのは違和感がある。実際に使われている小規模公園もある。</p> <p>小規模公園の積極的な意義を記載したほうが望ましい。小規模公園も重要。</p>	<p>【事業概要】 ・～。また、利用率が低い小規模公園において、公園拡張の機会が訪れた際には、計画的な拡張再整備に取り組めます。</p>	<p>・～。また、小規模公園において、公園拡張の機会が訪れた際には、計画的な拡張再整備に取り組み、魅力の向上に努めます。</p>

基本目標 4

● 施策 4-9 「水とみどりのネットワークでやすらげる環境づくり」

主要事業	意見	修正前	修正後
一	その他事業に「大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進」が記載されているが意図はなにか。プランを書いてしまうと具体的な事業が見えなくなってしまうので修正してほしい。	【実施計画事業】 ・大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進	※削除